

◆ 今週のコメント

- 新型コロナウイルス感染症の報告が80例(男性53例(10歳代4例, 20歳代16例, 30歳代15例, 40歳代3例, 50歳代4例, 60歳代6例, 70歳代1例, 80歳代4例), 女性27例(10歳代2例, 20歳代11例, 30歳代2例, 40歳代3例, 50歳代4例, 70歳代1例, 80歳代3例, 小学生1例(年齢非公開)))あり, 累積報告数は454例となりました。本感染症の最新の動向及び詳細については下記URLをご参照ください。
 - 新型コロナウイルス感染症 最新の動向
<https://www.city.kyoto.lg.jp/hokenfukushi/page/0000268303.html>
 - 京都市衛生環境研究所にゅーす 令和2年度 第1号(通巻139号)(特集! 新型コロナウイルス感染症!)
<https://www.city.kyoto.lg.jp/hokenfukushi/cmsfiles/contents/0000175/175313/news2020-01.pdf>
- レジオネラ症(肺炎型)の報告が2例(60歳代及び70歳代男性)(ともに第29週追加報告分)ありました。本年の累積報告数は6例となりました。
- アメーバ赤痢(腸管アメーバ症)の報告が1例(50歳代男性)(第29週追加報告分)ありました。症状は下痢, 粘血便及び腹痛です。感染地域及び感染経路は不明です。本年の累積報告数は4例となりました。
- ウイルス性肝炎(B型)の報告が1例(20歳代女性)(第29週追加報告分)あり, 症状は嘔吐及び肝機能異常です。感染地域は国内, 感染経路は性的接触です。本年初めての報告です。
- カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症の報告が1例(60歳代男性)(第28週追加報告分)ありました。本年の累積報告数は16例となりました。
- 侵襲性肺炎球菌感染症の報告が1例(70歳代男性)(第29週追加報告分)ありました。症状は発熱, 咳, 意識障害及び菌血症で, 感染地域は国内です。本年の累積報告数は19例となりました。
- 梅毒の報告が2例(40歳代男性及び20歳代女性)(第29週追加報告分含む)ありました。いずれも感染地域は国内です。本年の累積報告数は35例となりました。

◆ 今週のトピックス: <新型コロナウイルス感染症>

京都市の新型コロナウイルス感染症のPCR検査陽性者数は, 第30週の1週間で80例増加し, 累積報告数は454例となりました。詳細をトピックスに掲載しています。

◆ 発生状況

全数把握の感染症

(性別, 年齢, 症状, 感染地域[※], 感染経路[※]の順に掲載。)

- 指定感染症: 新型コロナウイルス感染症 80例【1月以降の累積報告数 454例】
- 四類: レジオネラ症 2例【1月以降の累積報告数 6例】
- 五類: アメーバ赤痢 1例【1月以降の累積報告数 4例】
- 五類: ウイルス性肝炎 1例【1月以降の累積報告数 1例】
- 五類: カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症 1例【1月以降の累積報告数 16例】
- 五類: 侵襲性肺炎球菌感染症 1例【1月以降の累積報告数 19例】
- 五類: 梅毒 2例【1月以降の累積報告数 35例】

定点把握の主な感染症

(市内定点数 インフルエンザ定点69, 小児科定点43, 眼科定点10, 基幹定点1)

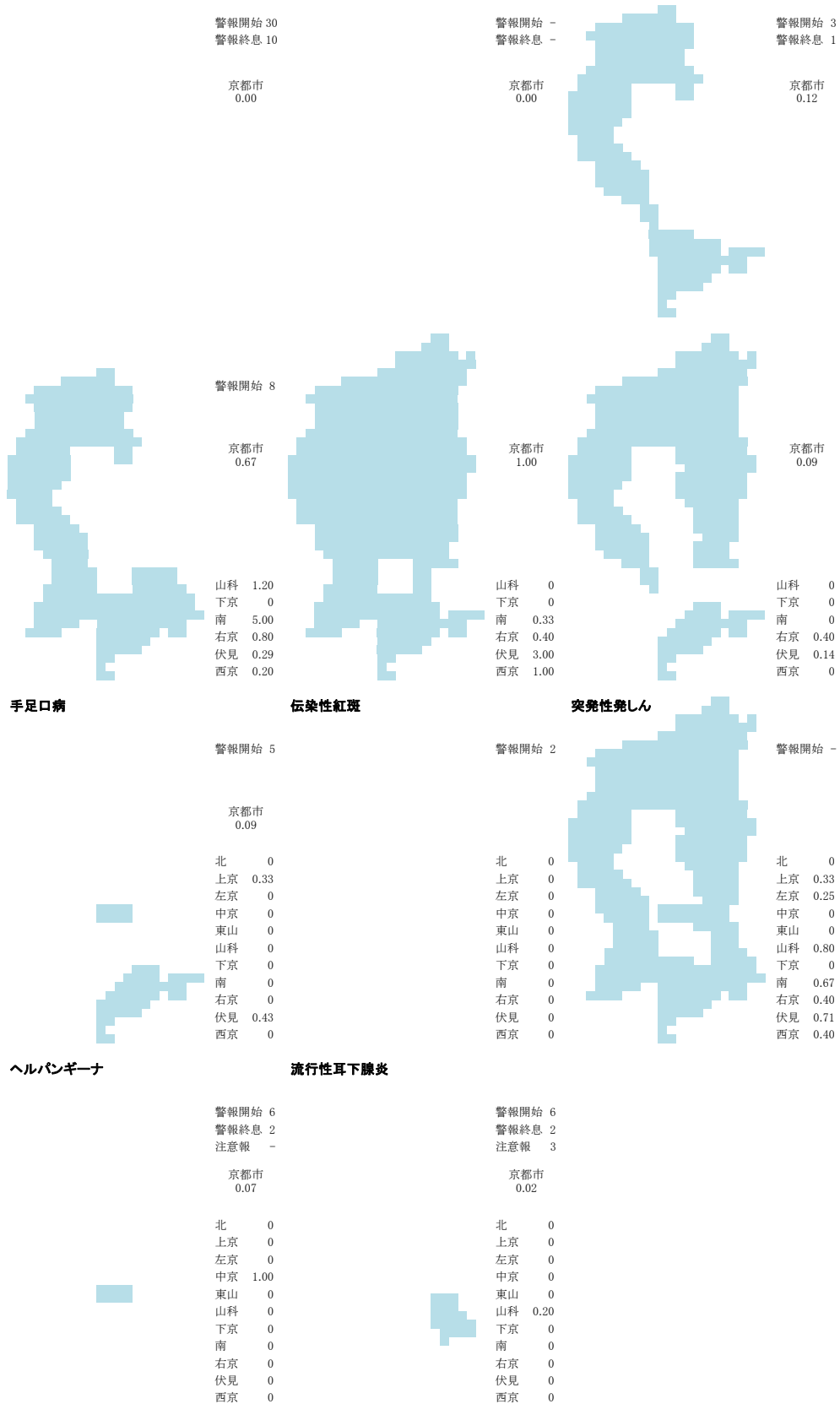
定点	感染症名	定点当たり報告数	報告数
インフルエンザ [*]	インフルエンザ	0.00	0
小児科 (降順5位まで)	① 感染性胃腸炎	1.00	43
	② A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.67	29
	③ 突発性発しん	0.40	17
	④ 咽頭結膜熱	0.12	5
	⑤ 水痘	0.09	4
	⑤ 手足口病	0.09	4
眼科	流行性角結膜炎	0.10	1

【次ページ以降の主な内容】

発生状況の概況グラフ / 発生状況地図 / 今週のトピックス: <新型コロナウイルス感染症>
付表(疾病, 行政区別報告数 / 年齢階級, 疾病別報告数 / 週, 疾病別報告数)

(注) 京都市のデータは, 2020年7月29日現在の報告数で, 全国の還元データと若干異なる場合があります。
また, 本情報での患者数は, 届出医療機関所在地での集計で, 患者の住所を示すものではありません。
[※] 感染地域及び感染経路については推定を含みます。

インフルエンザ及び小児感染症の発生状況地図【2020年 第 週】



第30週(7月20日～7月26日)トピックス: <新型コロナウイルス感染症>

京都市で広報された新型コロナウイルス感染症のPCR検査陽性者数(患者数)は、第30週の1週間で80例増加し、累積報告数は454例(男性237例, 女性213例, 未就学児の非公表4例)となりました。

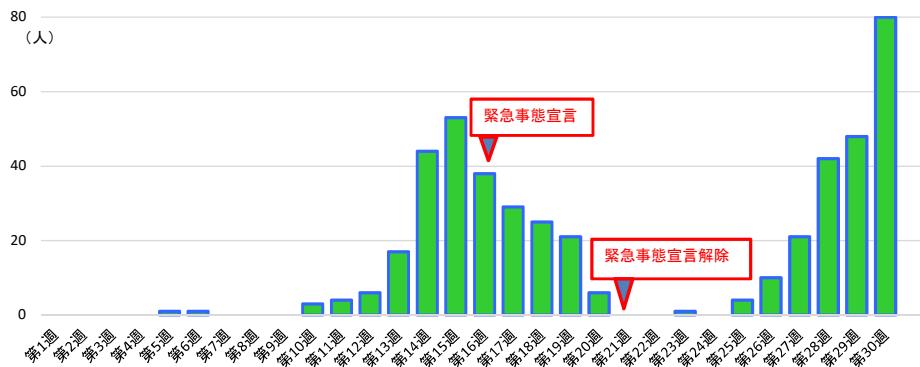
京都市では1月30日に1例目が確認された後、報告数は徐々に増加し、第20週までの第1波としては第15週(4月6日～12日)に最初のピークを迎えました。4月16日(第16週)には全国で緊急事態宣言が発出され、以降、不要不急の外出自粛により患者数は減少し、本市の新規患者は5月15日か「0」の日が続き、5月21日(第21週)には京都府の宣言は解除されました。しかし、その後第25週(6月15日～21日)以降は、いわゆる夜の接待を伴う飲食店から集団感染(クラスター)が発生しました。また病院等でもクラスターが発生するなど患者数は5週連続で増加し、第30週は1週間あたりで過去最多の報告数となり、感染が急拡大しています(図1)。

第20週まで(～5月17日)と第21週以降(5月18日～)で患者の年齢層を比較してみると第20週までは年齢層も幅広く見られましたが、第21週以降では20歳代の若者を中心に広がっていることがわかります。第25週からは集団感染が起きた患者の濃厚接触者を徹底して検査した結果、さらに患者が急増しています(図2)。若い年齢層の患者は、症状が軽度または無症状の方が多いため、感染を広げないように濃厚接触者を積極的に検査して大流行の波を作らないように対策を強化しています。

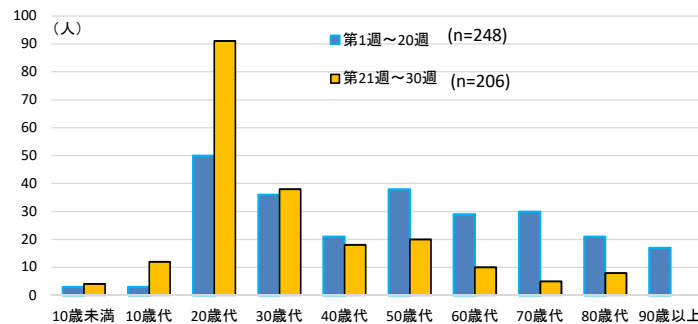
市民の皆様には感染を防ぐために、自粛要請は出ていないものの、今一度、三密(密閉空間・密集場所・密接)をさげ、うがいと手洗い、マスクの装着など新しい生活様式を意識して、自己徹底しましょう。

発熱やせき等の症状で受診したいときは、医療機関へ直接行かずに、まず電話でかかりつけ医等に相談するか、または下記に連絡した上で受診の相談をしましょう。

(図1) 京都市の新型コロナウイルス感染症患者の推移(第1週～第30週)



(図2) 第20週までと第21週以降で見る京都市の年齢階級別患者数(第1週～第30週)



京都市では下記センター及び専用電話相談窓口を開設しています。

●帰国者・接触者相談センター

●新型コロナウイルス感染症専用電話相談窓口

1. 専用電話番号： 075-222-3421

(電話番号は共通です)

2. 受付時間： 土・日・祝日を含む24時間

○息苦しさ(呼吸困難)、強いだるさ(倦怠感)、高熱等の強い症状のいずれかがある場合

○重症化しやすい*方で、発熱や咳などの比較的軽い風邪の症状がある場合

<相談の目安> (※)高齢者、糖尿病、心不全、呼吸器疾患(COPD等)等の基礎疾患がある方や透析を受けている方、免疫抑制剤や抗がん剤等を用いている方

○上記以外の方で発熱や咳など比較的軽い風邪の症状が続く場合

参考情報

○厚生労働省では、新型コロナウイルス感染症に関する情報を掲載しています。

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000164708_00001.html

○京都市では、新型コロナウイルス感染症の最新の動向を提供しています。

<https://www.city.kyoto.lg.jp/hokenfukushi/page/0000268303.html>

T3201

京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:2020年第30週

疾病,行政区別報告数

2020年7月20日～2020年7月26日

データ入手日:2020年7月29日

	インフルエンザ(※1)	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	頭炎 A群溶血性レンサ球菌咽	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎(※2)	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎(※3)	感染性胃腸炎(※4)
男女合計																		
北	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-					
上京	-	-	-	-	3	-	1	-	1	-	-	-	-					
左京	-	-	-	-	5	1	-	-	1	-	-	-	-					
中京	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-
東山	-	-	-	1	5	-	-	-	-	-	-	-	-					
山科	-	-	-	6	-	-	-	-	4	-	1	-	-					
下京	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-					
南	-	-	1	15	1	-	-	-	2	-	-	-	-					
右京	-	-	3	4	2	2	-	-	2	-	-	-	1					
伏見	-	-	1	2	21	1	3	-	5	-	-	-	-					
西京	-	-	-	1	5	-	-	-	2	-	-	-	-					
京都市計	-	-	5	29	43	4	4	-	17	3	1	-	1	-	-	-	-	-

疾病,行政区別定点当たり報告数

	インフルエンザ(※1)	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	頭炎 A群溶血性レンサ球菌咽	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎(※2)	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎(※3)	感染性胃腸炎(※4)
男女合計																		
北	-	-	-	-	0.25	-	-	-	-	-	-	-	-					
上京	-	-	-	-	1.00	-	0.33	-	0.33	-	-	-	-					
左京	-	-	-	-	1.25	0.25	-	-	0.25	-	-	-	-					
中京	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1.00	-	-	-	-	-	-	-	-
東山	-	-	-	0.50	2.50	-	-	-	-	-	-	-	-					
山科	-	-	-	1.20	-	-	-	-	0.80	-	0.20	-	-					
下京	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-					
南	-	-	0.33	5.00	0.33	-	-	-	0.67	-	-	-	-					
右京	-	-	0.60	0.80	0.40	0.40	-	-	0.40	-	-	-	1.00					
伏見	-	-	0.14	0.29	3.00	0.14	0.43	-	0.71	-	-	-	-					
西京	-	-	-	0.20	1.00	-	-	-	0.40	-	-	-	-					
京都市計	-	-	0.12	0.67	1.00	0.09	0.09	-	0.40	0.07	0.02	-	0.10	-	-	-	-	-

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。

京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:2020年第30週

年齢階級, 疾病別報告数

2020年7月20日～2020年7月26日

データ入手日:2020年7月29日

京都市	年齢1	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上
男女合計	年齢2	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳以上	
	年齢3	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳以上						
	年齢4	総数	0歳	1歳-	5歳-	10歳-	15歳-	20歳-	25歳-	30歳-	35歳-	40歳-	45歳-	50歳-	55歳-	60歳-	65歳-	70歳以上				
インフルエンザ(※1)	年齢1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
RSウイルス感染症	年齢3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
咽頭結膜熱		5	-	2	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1						
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		29	-	1	2	2	3	4	3	2	2	1	-	5	-	4						
感染性胃腸炎		43	2	7	7	4	2	3	1	3	2	4	1	2	3	2						
水痘		4	-	-	-	-	-	1	-	-	1	-	1	1	-	-						
手足口病		4	-	-	2	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
伝染性紅斑		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
突発性発しん		17	-	5	10	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
ヘルパンギーナ		3	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-					
流行性耳下腺炎		1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-					
急性出血性結膜炎	年齢2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
細菌性髄膜炎(※2)	年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎(※3)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎(※4)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

年齢階級, 疾病別定点当り報告数

京都市	年齢1	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上
男女合計	年齢2	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳以上	
	年齢3	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳以上						
	年齢4	総数	0歳	1歳-	5歳-	10歳-	15歳-	20歳-	25歳-	30歳-	35歳-	40歳-	45歳-	50歳-	55歳-	60歳-	65歳-	70歳以上				
インフルエンザ(※1)	年齢1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
RSウイルス感染症	年齢3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
咽頭結膜熱		0.12	-	0.05	0.02	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.02						
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		0.67	-	0.02	0.05	0.05	0.07	0.09	0.07	0.05	0.05	0.02	-	0.12	-	0.09						
感染性胃腸炎		1.00	0.05	0.16	0.16	0.09	0.05	0.07	0.02	0.07	0.05	0.09	0.02	0.05	0.07	0.05						
水痘		0.09	-	-	-	-	-	0.02	-	-	0.02	-	0.02	0.02	-	-						
手足口病		0.09	-	-	0.05	0.05	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
伝染性紅斑		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
突発性発しん		0.40	-	0.12	0.23	0.05	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
ヘルパンギーナ		0.07	-	-	0.02	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	0.02	-	-					
流行性耳下腺炎		0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.02	-	-	-					
急性出血性結膜炎	年齢2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	0.10	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.10	-	-
細菌性髄膜炎(※2)	年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎(※3)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎(※4)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。

T3203

京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:2020年第30週

週, 疾病別報告数

データ入手日:2020年7月29日

京都市 男女合計	5週前	4週前	3週前	2週前	1週前	今週
インフルエンザ ※1)	-	-	-	-	-	-
RSウイルス感染症	-	-	-	-	-	-
咽頭結膜熱	-	-	5	1	4	5
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	21	30	56	46	41	29
感染性胃腸炎	74	94	69	64	76	43
水痘	2	1	2	6	6	4
手足口病	8	2	6	2	1	4
伝染性紅斑	-	-	-	-	-	-
突発性発しん	10	28	19	20	21	17
ヘルパンギーナ	2	5	7	6	2	3
流行性耳下腺炎	3	-	1	2	-	1
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	1	5	-	3	-	1
細菌性髄膜炎 ※2)	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎 ※3)	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎 ※4)	-	-	-	-	-	-
合計	121	165	165	150	151	107

週, 疾病別定点当たり報告数

京都市 男女合計	5週前	4週前	3週前	2週前	1週前	今週
インフルエンザ ※1)	-	-	-	-	-	-
RSウイルス感染症	-	-	-	-	-	-
咽頭結膜熱	-	-	0.12	0.02	0.09	0.12
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.49	0.70	1.30	1.07	0.95	0.67
感染性胃腸炎	1.72	2.19	1.60	1.49	1.77	1.00
水痘	0.05	0.02	0.05	0.14	0.14	0.09
手足口病	0.19	0.05	0.14	0.05	0.02	0.09
伝染性紅斑	-	-	-	-	-	-
突発性発しん	0.23	0.65	0.44	0.47	0.49	0.40
ヘルパンギーナ	0.05	0.12	0.16	0.14	0.05	0.07
流行性耳下腺炎	0.07	-	0.02	0.05	-	0.02
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	0.10	0.50	-	0.30	-	0.10
細菌性髄膜炎 ※2)	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎 ※3)	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎 ※4)	-	-	-	-	-	-
合計	2.89	4.22	3.84	3.72	3.51	2.57

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。